

平成28年度 第1回学校評議員会の報告

- 1 日 時 平成28年6月16日(火) 10:00~12:30
- 2 場 所 本校会議室
- 3 出席者 学校評議員
B評議員 (地域行政区民)
C評議員 (福祉・行政代表)
D評議員 (関係機関代表)
E評議員 (地域振興会会長) 以上4名
*A評議員(交流学校長)は、都合により欠席
オブザーバー(本校PTA会長)
学校職員 校長 副校長3名 事務長 総括教務主任 小学部主事
中学部主事 高等部主事 進路指導主事 寮務主任
特別支援教育センター部長 以上12名
- 4 委嘱等 10:00~10:15
(1) 学校長挨拶
◎学校評議員の紹介及び職員紹介
(2) 日程説明
- 5 授業参観及び施設見学 10:15~10:55
◎小学部・中学部・高等部・寄宿舎
- 6 学校評議員会 11:00~12:30
(1) 議題
ア 平成28年度学校概要及び運営方針について
【学校概要、運営方針】 ----- 校長より説明
【各学運営方針について】 ----- 各学部主事より説明
【校務運営方針について】 ----- 分掌部長、副校長より説明
【入学・転入学者の状況】 ----- 総括教務主任より説明
イ 平成27年度の取組
【平成27年度進路状況】 ----- 進路指導主事より説明
【特別支援教育センター部の支援状況】 ----- センター部長より説明
ウ 意見交換・提言
<B評議員>
・学校経営の計画は大変素晴らしいと感じた。昨年度、年度末の学校評価においては、経営の目標値が高いため評価がAにならなかった部分があったが、今年度はその反省を生かし計画されている。学校経営の方針が確認できたので、年度末評価が楽しみである。
<C評議員>
・授業参観をして素晴らしい環境の中で教育活動がきめ細かに行われていることを感じた。今年度は高等部卒業生が30名程と大変多くなっている。就労に向け行政の立場からも協力をしていきたい。希望進路の実現に向け、学校と連携して取り組んでいきたい。
<D評議員>

- ・授業参観をし、先生方が子どもの視点に立ち対等な立場で関わっていること、見えない所で個別化を図って取り組まれていることがよく分かった。教材教具や作業種に支援の工夫がよくなされており参考となった。
- ・共生社会を築くために、地域社会に学校のことを広くPRすることが必要だと思われる。学校行事だけではなく、子どもたちの様子、普段の学習の様子等を報道関係にもっと取り上げてもらうべきである。
- ・支援学校に在籍していると、出身地域との関わりが少なくなってしまう、地域に戻ったときに理解してもらえないことがある。出身地域との交流はどのようになされているか。

⇒平成23年に「いわて特別支援教育推進プラン」が岩手県から出された。その中で特別支援学校に在籍する児童生徒とその居住地にある小・中学校との「交流及び共同学習」の推進がプランとして示された。平成25年度からは、小中学部を置くすべての県立特別支援学校において、交流籍という副次的な籍を活用した居住地の小学校・中学校との交流及び共同学習を推進することとなった。共生社会の素地をつくることを目的として実施されているものである。県内全ての特別支援学校で希望する児童生徒について実施できるように、関係市町村教育委員会を通して、居住地の小学校・中学校と事前事後の打合せを充実させ、実りある交流活動ができるように計画的に進められている。

P T A活動として、居住地ごとに地区P T A活動を実施している。居住地域の社会資源や人材を活用し、ボウリングなどのレクリエーション活動やおやつ作りなどを通して共生社会の素地づくりを行っている。

< E 評議員 >

- ・学校と地域とがもっと交流しても良いのではないか。
- ・地域の農作業にも参加してはどうか。
- ・花巻清風支援学校の特色である陶芸の技術を地域にも教え分けてほしい。
- ・事故対策としてヒヤリハットがあったら教えてほしい。

< P T A 会長：オブザーバー参加 >

- ・地域と学校、教育現場が一緒になって教育活動を進めることが一人一人の進路実現につながると思う。地域との交流を広げていきたい。